



発行日 2021. 6. 1  
発行者 山路 雄彦  
発行所 一般社団法人  
群馬県理学療法士協会事務局  
群馬県前橋市大渡町 1-10-7  
群馬県公社総合ビル 6F  
源流題字 浅香 満  
編集責任者 榊原 清

# 源流

No. 146

## Contents

■理学療法アラカルト「組織運営で悩んでいる若いPTへ」 志摩耕平	・・・	02-03
■理学療法士が知っておきたい社会保障制度 ワークライフバランス委員会	・・・	03
■地域包括ケアシステムって何ですか？ 加藤啓祐	・・・	04
<b>NEWコンテンツ!!</b> ■新生涯学習制度について 生涯学習部	・・・	05-06
■書籍紹介「予防理学療法学要論」 宮田恵章	・・・	07
■職場紹介「家具のホンダ リハ・アシストホンダ」 小林勝	・・・	08-09
■後輩理学療法士へ 古川靖晃	・・・	10
■令和2年度中毛ブロックオンライン交流会 ■第45回基礎講座・症例検討会	・・・	11
■第6回介護予防推進に資する指導者養成研修会 ■地域リハビリ推進部研修会	・・・	12
■令和2年度介護保険部主催研修会	・・・	12
■災害支援とリハビリテーションに関する研修会 ■令和2年度小児リハ部研修会	・・・	13
■第32回臨床講習会	・・・	13
■スポーツ推進部研修会 ■第6回介護予防に資する地域ケア会議研修会	・・・	14
■会員動向	・・・	14
■ニュース收受	・・・	15
■編集後記 ■源流こらむ	・・・	16

## 「組織運営で悩んでいるPTへ」

特別養護老人ホーム菜の花館

志摩 耕平



私は、今年で理学療法士歴 15 年目を迎えました志摩耕平と申します。沼田脳神経外科循環器科病院に就職して 14 年が経過致しました。5 年前より、グループ内の介護施設に異動となり、現在は特別養護老人ホームにて施設長を務めております。施設では、施設管理や人材育成、経営方針の決定に至るまで、施設内のありとあらゆる業務の判断を行うことが求められております。施設運営を図る中で、現在取り組んでいるのが「ブランディング」です。

ブランディングとは、商品のデザインやシンボルマーク、ロゴ、商標、名称、キャッチフレーズ、記号などをきっかけに消費者が自社を認識する「ブランド力」を使用した手法で、自社の強み・ポジションを明確化する活動となります。分かりやすく言うと、「脳血管疾患のリハビリといえば〇〇病院」「〇〇病院といえば、職員の対応が良い」…などといったイメージをターゲット市場に愛着を感じさせ、浸透させるのがブランディングという活動の目的です。ブランディングを実施した会社としない会社の 10 年後の会社の成長率を比較したところ、ブランディングに取り組んだ会社、施策を何も行わなかった会社や広告のみを行なった会社に比べ、3 倍の比率で成長し、ブランディングと広告を合わせることによって、8 倍も成長するという結果が発表されました。これらの調査からわかるように、会社が成長し続けるためには、広告だけではなく、ブランディング戦略が重要となってくるのです。

私がブランディング戦略を学ぶ上でとても役立った書籍が、「好き」の設計図」です。本書は 2600 社を超える会社のブランディングを手掛けてきた実績のある著者がブランディングに関する基本的な考え方をわかりやすく解説しています。また、多くの会社のブランディングに携わってきたことで見えてきた、ブランディングの正解を導き出すための原理原則を伝えております。本書で解説する「ブランディング」の主な特徴としては、次の 3 つの点が挙げられます。

- ①ブランディングは難しいものではなく、身近なものだということ。
- ②こちらのことを深く知ってもらう前に、まず「好き」になってもらうのが重要なこと。
- ③ブランディングでは「アウター（社外向け）」以上に「インナー（社内向け）」が大切だということ。

ブランディング戦略というと難しく考える方も多いかと思われれます。好きになれば、その相手をもっと知りたくなる。これは、個人も会社も同じです。分厚い会社概要や内容の詰まった Web サイトを作成して伝えることを重視するよりも、まず意中の相手（ターゲット）にどうやって自社の商品やサービスを好きになってもらえるか考えるということが、ブランディングにとっては重要になってきます。私

も日々、職員が自社を好きになるような職場環境づくりや職員が地域や周りの人に語りたくなるようなサービスの構築を図るべく、ブランディングを行っております。時代の変化に伴い、理学療法士に対する国や地域、職場から求められるものが多様化してきております。職場の事情で、若くしてリハビリ課の責任者を任せられている方も多いかと思われまます。そんな組織運営で悩んでいる方はぜひこの本を読んでみてください。自分が責任者として何をしていけばよいのか？一筋の方向性が見えてくるかもしれません。

題名：『「好き」の設計図』

著者名：関野 吉記

発行：クロスメディア・パブリッシング

価格：1,188 円（税込み）

## 理学療法士が知っておきたい社会保障制度

### 「働き方を考える」

ワークライフバランス委員会 金子千紗

「仕事と生活の調和（ワークライフバランス）」というと仕事一筋の方もいれば余暇を重視する方、家族との時間を大切にされる方など様々だと思えます。自分の理想とするワークライフバランスを実現するためには自身の「働き方」と向き合うことが少なからず必要になります。また、その「働き方」は各々に与えられた権利を使いながらライフステージに合わせて変化させていくことが必要であるとも考えます。

男女問わず理学療法士がライフイベントと仕事を両立し、社会に貢献できる人生を歩むために、就労環境の整備を図ることを目的として設立されたワークライフバランス委員会も発足から2年が経過しました。本委員会では、ライフイベントに関わる就労環境の問題を明らかにし、幅広く会員を支援することを目的に群馬県理学療法士協会の全会員を対象としたアンケート調査を実施しました。就労環境アンケート調査の結果報告書については群馬県理学療法士協会ホームページ内、会員ページに掲載しておりますのでご確認ください。アンケート結果からは各職場の抱える問題を鑑みることができたのと同時に男性の育児休暇取得が一般化していないことや、育児休暇から復帰後のフォロー体制が確立していないこと等の問題点が浮き彫りとなりました。

ワークライフバランス委員会ではアンケートの結果を受け、今後就労環境の改善に向け、社会保障に関することや育児世代に向けた情報発信や管理者対象の意見交換会の開催を予定しています。より良い就労環境を作る上で、権利を求めただけでなく業務を全うした上で、スタッフ間でフォローし合える関係性を作ることができるかが重要な鍵となると考えます。

「働き方を考える」というテーマでここまで綴って参りましたが、私自身理学療法士としては4年目、育児も介護もしておりませんが、ワークライフバランス委員会での活動を通し自らのライフステージの変化に合わせた「働き方」と向き合っていきたいと思えます。

# 地域包括ケアシステムって何ですか？

## 館林地域の地域包括ケアシステムの取り組み

### 館林地域広域支援センター

慶友整形外科病院 加藤啓祐

館林地域広域支援センターの事業としては、介護予防サポーター養成講座、地域の健康まつりへの参加、自立支援型地域ケア会議への専門職派遣、通いの場などの地域サロンでの運動指導者の派遣などを中心に実施しています。最近では館林地域でも通いの場が徐々に充実してきており、介護予防サポーターが活躍する場が増えていることから、我々が直接指導するのではなく、運動実践リーダーを育成する取り組みも行い自助・互助力の向上を市町村と連携をとり勧めております。

また、広域支援センター後援のもと研究会の開催も積極的に行ってきました。年に2回6月と12月にそれぞれロコモ・フレイル研究会、健康寿命延伸研究会とし開催しました。特別講師には健康分野関連でもご高名な先生をお呼びすることができました。

今後も研究会の継続的な開催を目標とし地域医療職のスキルアップに努めて行きたいです。

#### ロコモ・フレイル研究会

##### 第1回

「ロコモ経由のフレイル対策  
～運動器の健康を推進する意義～」  
伊奈病院 石橋英明先生

##### 第2回

CVID-19により延期

#### 健康寿命延伸研究会

##### 第1回

「健康寿命延伸にむけて」  
群馬県立心臓血管センター 鈴木秀喜先生

##### 第2回

「二次骨折予防から学ぶ医療連携の実際」  
新潟リハビリテーション病院 山本智章先生

##### 第3回

「ためになる骨粗鬆症と椎体骨折の話」  
東大和病院 山岸賢一郎先生

### 今後の展望

館林地域広域支援センターでの活動は主に慶友整形外科病院の中で派遣等を行ってまいりました。しかし、今後は地域へのリハ専門職の必要性を訴えていくとともに、より地域施設と市町村が顔の見える関係づくりができるような、リハネットワークづくりを課題と考えています。

今後も地域の健康向上に取り組んでいきたいと思っております。

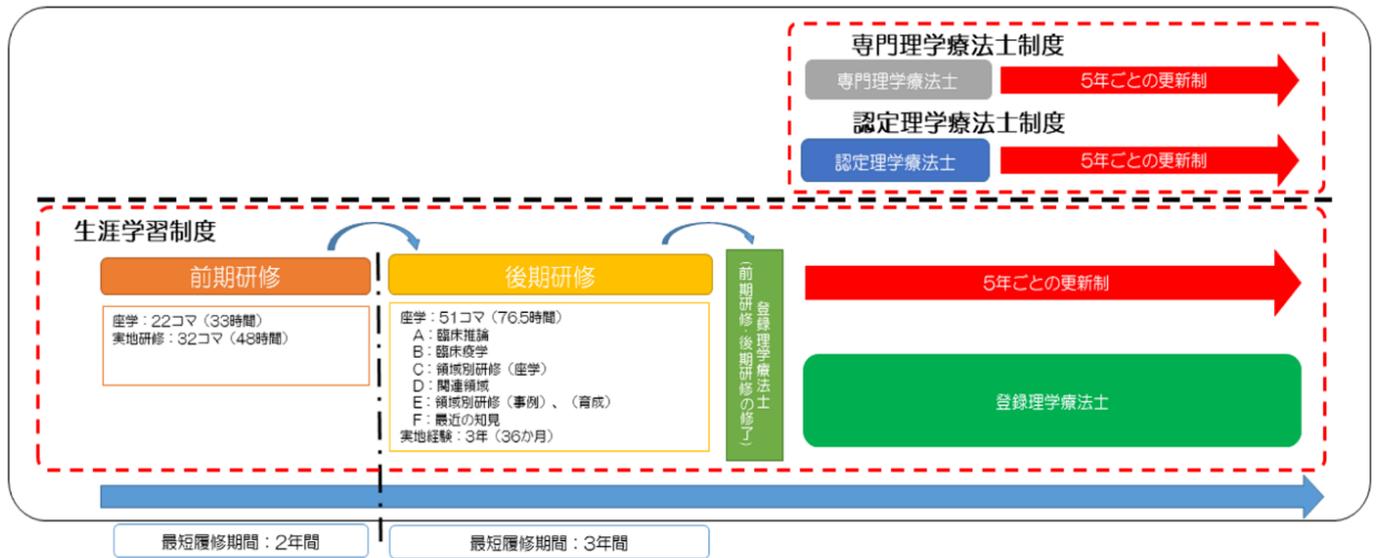
# 新人さん必見！新生涯学習制度について

## 第1回 新生涯学習制度の概要

生涯学習部 萩原 晃

理学療法士協会では、多様化するニーズに応えうる理学療法士を育成していくため、2022年4月から新生涯学習制度が開始されます。この度は全4回に渡り新生涯学習制度について周知する機会をいただきましたので、第1回である今回は新生涯学習制度の概要について説明をさせていただきます。新生涯学習制度では、卒後2年間の前期研修、その後3年間の後期研修修了にて、「登録理学療法士」として認証されます。全会員が登録理学療法士を取得し、5年ごとにジェネラリストとしての幅広く総合的な研修受講により、自己研鑽を継続することで、理学療法士協会が社会に対して理学療法士の質を保證することを目指します。登録理学療法士を基盤とし、より高い専門性を兼ね備える「認定理学療法士」、「専門理学療法士」制度を構築しています。「認定理学療法士」は臨床実践分野において秀でた理学療法士を、また「専門理学療法士」は学問的指向性の高い理学療法士を目指す、希少価値のある認定資格として位置づけています。新生涯学習制度は、様々な領域に従事する会員が持続可能な生涯学習制度とし、働き方に応じた多様性と深化の動機付けとなるキャリア開発プログラムを目指します。

新生涯学習制度への移行にあたり、新人教育プログラムが未修了の場合は、入会年数や経験年数に関わらず前期研修からとなりますので、現制度にて新人教育プログラムを修了することをお勧めします。また、新人教育プログラムを修了されていても、経験年数や取得ポイント数、取得資格などにより登録理学療法士取得のために必要な履修内容が異なります。そちらについては、理学療法士協会の会員ページにご自身がどこに位置するのか確認する診断ツールがありますので活用して下さい。新人教育プログラムは、対面研修だけでなくeラーニングでも受講することができます。eラーニングの場合、2021年度入会者は受講費が無料、その他の会員は有料となっていますが、2021年度のeラーニングは「申込期限が2021年11月末日、視聴期限が2021年12月末日」ですので注意して下さい（協会指定研修・認定必須研修会のコンテンツは除く）。また、2022年3月31日まで履修ポイントの登録は可能ですが、2022年4月1日以降に提出した履修情報については、活動履歴の登録のみとなり、新制度移行時の位置づけを判断する際の履修ポイント・単位には反映できないため注意して下さい。各施設においても、2022年3月31日までに新人教育プログラムを修了するように勧めただけであればと思います。次回の第2回は前期研修について説明していきたいと思いますので、よろしく願い致します。



<参考資料>

\* 新生涯学習制度についての詳細

【閲覧方法】「日本理学療法士協会マイページ」→「会員専用コンテンツ」→「新生涯学習制度」

【URL】 <https://support.japanpt.or.jp/privilege/education/lifelonglearning/s10/>

\* 生涯学習制度に関する動画ページ

【閲覧方法】日本理学療法士協会ホームページ

（オープンページにて公開[マイページログイン不要]）

【URL】 [http://www.japanpt.or.jp/about/enterprise/lifelonglearning/movie\\_list/](http://www.japanpt.or.jp/about/enterprise/lifelonglearning/movie_list/)

\* 生涯学習情報専用の Twitter

【アカウント情報】ユーザー名:@jpta\_shougai

【URL】 [https://twitter.com/jpta\\_shougai](https://twitter.com/jpta_shougai)



# \*\*\*\*\*書籍紹介\*\*\*\*\*



## 「予防理学療法学要論」

利根中央病院 宮田 恵章

監修：大淵修一 浦辺幸夫

編集：吉田剛 井上和久

価格：5,060 円



はじめまして。私は利根保健生活協同組合 利根中央病院で勤務しております宮田と申します。私は、理学療法士となって今年で3年目となります。現在は回復期病棟で勤務しておりますが、理学療法士になる以前は県外にて健康運動指導士としてリハビリ型デイサービスで高齢者への運動指導や一般の方からスポーツ選手までのパーソナルトレーニングなどの業務に従事しておりました。そんな中、理学療法士を目指したきっかけは、職場の先輩方の「利用者様一人一人に対して真剣に取り組み、どうすれば良くなるのか」という純粋な思いを目の当たりにし、自分もこの人たちと同じフィールドで働いてみたいと思ったからです。

そこから無事、理学療法士となり、現在の職場に入職する際に「私は地域で愛させるセラピストになります」と出勤初日の朝礼で宣言したのを覚えております。理学療法士として、この生まれ育った地域に戻ることで、「地域のために今までの経験を活かしたい」と強く思うようになりました。そんな時に出会ったのが今回の書籍です。

近年、地域包括ケアシステムの構築に関して、我々理学療法士に期待されることも多くなっていると思います。そんな中、病院にて怪我や病気になった方のリハビリテーションに従事するだけではなく、もっと手前の身体が動くうちから介入することで、より多くの人達を怪我や病気から守れるのではないかと考えております。この書籍を通して予防理学療法としての基礎知識を改めて見直すことができ、我々が担える役割が地域にはとても多いのだと知り、身体の専門家として、我々の知識をもっと広い分野で活かせるのではないかと感じるようになりました。

今年度からは介護予防事業にも参加させて頂く予定です。理学療法士としての知識と健康運動指導士としての指導力を活かして一人でも多くの人達に身体を動かすことの楽しさと大切さを伝えられるように頑張っていこうと思います。自分と同じような志をもつセラピストが集まれば地域をより良くできると確信しています。

ご興味のある方は、是非お手に取ってみてください。



# 職場紹介

## 家具のホンダ リハ・アシストホンダ



小林 勝

### 1. リハ・アシストホンダとは

家具のホンダ リハ・アシストホンダは、群馬県桐生市にて創業 100 年を迎えた老舗家具店『家具のホンダ』が運営する「リハビリ特化型デイサービス」です。平成 27 年 10 月に末広店、平成 31 年 3 月に東店、令和 2 年 4 月に相生店がオープンし、現在 3 店舗を運営しております。

当施設は、地域密着型通所介護と第一号通所事業として、午前午後の 2 部、各 3 時間の中で、桐生市の方が住み慣れた町や環境で元気な生活が送れるよう利用者一人一人の状態や生活に合わせたリハビリテーションと運動プログラムを提供しております。

### 2. リハ・アシストホンダの特徴

利用者は、病院退院後のリハビリテーション継続目的から身体機能の維持目的、疾患では慢性疼痛、運動器疾患、脳血管障害、神経・筋疾患、認知症など多岐に亘っております。

各店舗には、理学療法士が 2 名以上在籍しており、利用者の状態に合わせた個別リハビリテーションを行うとともに、運動器具やリラクゼーション機器の選定、ご自宅の環境に合わせた自主トレーニングプランをオーダーメイドで提供しています。また、プラン策定に当たっては、ご自宅を訪問して生活状況のチェックや、体成分分析装置 InBody 測定を利用した身体状況分析も実施しております。



私の勤務する末広店は、リラクゼーション機器や運動器具を使用し、疼痛や筋緊張の調整を行いながら身体機能の向上を図り、個別リハビリテーションでは商店街に在ることを利用し、街並みを利用した屋外歩行や近くのお店へ買い物に行くなど、社会参加や QOL の向上を目的とした取り組みを行っております。また、季節のイベントとしてリハビリテーションを目的とした集団レクリエーションや、作業療法として、施設の飾りつけもご利用様と一緒にっており、アットホームな雰囲気だけでなく、精神面からも健康になるよう取り組んでおります。

次に東店は、最新の運動器具を 19 種類揃えており、タイムスケジュールやマシンの設定などなるべくご自身で行って頂き、自主性を高め運動への意欲を高めるような取り組みを行っております。個別リハビリテーションでは、iPad を利用してご利用者様と歩行や動作の共有を図り、TRX やパワープレートを使用した多彩な機能改善プログラムも提供しております。

最後に相生店は、30 台の運動器具を揃えており、3 店舗で一番広い施設となっております。市



内で唯一屋内 50m の歩行スペースを確保し、坂道や階段、不整地などの歩行訓練が安全に行える施設となっております。

リハ・アシストホンダでは、店舗毎に特色を出しながらも統一意識のもとで、看護師・介護職員とも連携しながら、多角的に利用者其々にふさわしいリハビリテーションの提供を心掛けております。

### 3. 最後に

リハビリ特化型デイサービスは、まだまだ全国的にも知名度の低い分野となっております。また、デイサービスに理学療法士が在籍し、専門知識に基づいたリハビリテーションを提供していることも強くアピールしていく必要があると考えております。

一方、桐生市では人口の減少とともに高齢化率も上昇し、令和 2 年度は高齢化率が 35.67% と、3 人に 1 人が高齢者となっております。また、世帯あたり人員も年々減少し 2.28 人となっております。利用者の方々も一人暮らしの方が増加している傾向にあります。

桐生市の状況を踏まえた地域に根ざした活動として、地域の活性化や一人暮らしで閉じこもりがちな方への取り組みが必要と考え、地域と共に住み慣れた町や環境で元気に暮らしていけるような活動にも取り組んでおります。

その一つとして、本来の目的である介護予防と健康寿命の延伸を図るため、免疫力の向上についても着目し、利用者向けに作成した資料を、近隣の方々へも配布しております。今後は、体操教室や運動の提供を介護保険外の地域の方々にも提供していくなど、地域の活性化に貢献できるよう多様な取り組みを展開していきたいと考えております。



# 後輩理学療法士へ

医療法人社団三思会

東邦病院 リハビリテーション科

古川 靖晃



皆さん、こんにちは。医療法人社団三思会東邦病院リハビリテーション科の古川靖晃と申します。私は経験年数が5年を過ぎ、6年目になりました。

思えば、1年目の入職当初、まったく右も左わからなく不安に思いながら仕事をしていた頃が今だと、とても懐かしく思います。最初の配属は医療型療養病棟で、透析患者様や高度な認知症の患者様を多く担当させて頂きました。先輩からのご指導や臨床の中で様々な課題が出て、私ももっと頑張らないといけない、そんな気持ちでいました。その時言語聴覚士の先輩から「ユマニチュード」という言葉を聞きました。当時はあまり関心を持ってなかったのですが、今は本も購入し勉強しています。ユマニチュードには「見る」「話す」「触れる」「立つ」の4つの柱があり、これらを意識して認知症の患者様と接すると、患者様は安心して私たちと信頼関係を築きやすくなるといわれています。まだまだ、患者様との信頼関係の形成や接遇に関しては完璧とは言えませんが、私自身、日々の臨床の中で常に意識するようにしています。皆さんも信頼関係を築くことで悩んだときは、ユマニチュードの考えを勉強してみるのも良いと思います。

その後、回復期や急性期病棟も経験し、心臓リハビリテーションとも出会うことができました。心不全の患者様のフィジカルアセスメント、レジスタンストレーニング、CPX、どれも面白い話題ばかりで講習会に行くのがとても楽しみになりました。心不全の患者様のフィジカルアセスメントでは、心音や呼吸音の聴取、手指の冷感、下肢の浮腫み、頸静脈怒張といった評価で患者様を評価しつつ運動療法を行うように心がけています。今後は心臓リハビリテーション指導士を目指しており、日々研鑽中です。

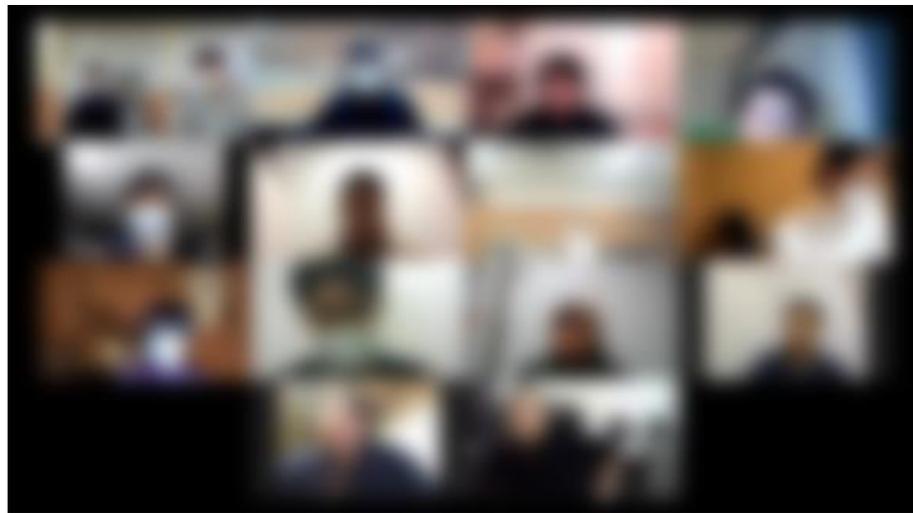
1年目からこれまでで、様々な患者様、病棟スタッフ、リハビリスタッフと出会い、私にも夢や目標が沢山できました。是非、読んでいただけた皆さんにも夢や目標が見つかり、そこに向かって共に精進して頂ければと思っています。



# 研修会報告

## 令和2年度中毛ブロックオンライン交流会開催

令和3年1月8日(金)、オンライン会議システム ZOOM を用いて令和2年度中毛ブロックオンライン交流会を開催されました。2部構成で行い、第1部を「コロナ禍における理学療法士協会の対応」をテーマに群馬県理学療法士協会会長の山路雄彦先生よりご講演いただきました。コロナウイルス感染状況について、データベースを用いて詳細に示していただき、PT が置かれている状況について理解で



きました。第2部のグループワークでは、事前に参加者に協力いただいたアンケートをもとに、各施設で困っているコロナ事情について意見交換ができました。中毛ブロックは、コロナ禍においても会員同士の横のつながりが深められる場所を提供できるよう今後も務めていきます。

(中毛ブロック長 荒木海人)

## 第45回基礎講座・症例検討会開催

令和3年1月24日(日)に、オンライン形式にて第45回基礎講座・症例検討会が開催されました。基礎講座として「地域包括ケアシステム・地域ケア包括病棟・在宅における理学療法」をテーマに、介護老人保健施設うららくの新谷和文先生より、リハビリテーションマネジメントの重要性や今後の在宅リハビリの課題等についてご講義いただきました。

また、高崎健康福祉大学の篠原智行先生より、「地域包括ケアシステムにおける理学療法」をテーマに地域包括ケアシステムの概要や高崎市での実践例についてご解説、ご紹介いただきました。

午後の症例検討では公立藤岡総合病院 岡崎奏先生、榛名荘病院 塩浦宏祐先生、利根中央病院 七五三木史拓先生、群馬リハビリテーション病院 山崎紳也先生より、実際の症例への取り組みについて地域包括ケアシステムに絡めて症例発表をしていただき、各疾患領域、各病期での関わりについて理解を深めることができ、とても有意義な時間となりました。

## 第6回介護予防推進に資する指導者養成研修会開催

令和3年1月27日(水)、1月29日(金)、2月1日(月)、2月4日(木)に、オンライン形式にて第6回介護予防推進に資する指導者養成研修会が開催されました。「フレイル予防標準テキストの紹介とフレイル予防の県への普及及び実践について」群馬県 POS 連絡協議会 介護予防部の4名の講師の方に各日、ご講義いただきました。各講師の方より令和元年度版 フレイル予防標準テキストの見方をわかりやすく解説していただき、実践に生かせる興味深い研修でした。また、介護予防やフレイル予防を取り巻く話題やフレイルの原因と種類等、細かく解説していただき、フレイルや群馬県での取り組みについて理解を深めることができました。

## 令和2年度地域リハビリ推進部研修会開催

令和3年1月30日(土)に、WEB開催にて令和2年度地域リハビリ推進部研修会が開催されました。「with コロナにおける地域リハビリの現状と今後の展望」をテーマに、高崎健康福祉大学 解良武士先生よりご講義いただきました。感染の推移や日本理学療法士協会、日本予防理学療法学会のこれまでの状況について解説いただきました。また、実際の通いの場の現状についても解説いただき問題を整理することができました。今後、with コロナにおいて理学療法士が地域で果たすべき役割や方針、それに向けた具体的な方法について学ぶことができ、とても有意義な時間となりました。

## 令和2年度介護保険部主催研修会開催

令和3年1月31日(日)に、オンライン形式にて令和2年度介護保険部主催研修会が開催されました。群馬医療福祉大学 村山明彦先生より「フレイルの基礎、フレイルの予防活動の実際」をテーマに、フレイルの総論からコロナフレイルの予防についてなどの各論についてご講義いただきました。また、前橋地域リハビリテーション広域支援センター 牧雄介先生より「新生活様式に沿った広域支援センターの取り組み」をテーマに、コロナ禍の現在、対人での直接的なアプローチに変わる方法の模索とICTを活用した実例についてご講義いただきました。

石井病院 田口昌宏先生からは「伊勢崎市の取り組みと現状」について、伊勢崎市での介護予防に資する住民運営の通いの場の状況や課題についてお話いただき、今後の介護予防の展開について学ぶことができました。



## 災害支援とリハビリテーションに関する研修会開催

令和3年2月17日(水)に、オンライン形式にて災害支援とリハビリテーションに関する研修会が開催されました。「災害危機とフレイル」をテーマに上毛新聞社 記者の五十嵐啓介様より被災地の現状や取材に当たっていく中で感じているフレイル予防の大切さについてご講演いただき、専門職として今、何をすべきか深く考える機会となりました。

また、「リハビリテーション関連団体の災害支援について」をテーマに群馬県 POS 連絡協議会 山路雄彦会長、前橋医療福祉専門学校 永原大樹 ST より JRAT の支援活動の流れや支援内容についてご講義いただきました。昨今、大規模な災害が多発しており、災害に対しリハ職も支援していくことが求められており、お互いを支え合う地域づくりが重要であることを学ぶことができ、とても有意義な時間となりました。

## 令和2年度小児リハ部研修会開催

令和3年2月14日(日)に、「重症児者の QOL を守るための骨折のリスク管理の考え方」をテーマに令和2年度小児リハ部研修会が開催されました。参加者は49名(PT32名、OT4名、ST1名、看護師1名、学校関係7名、その他4名)となりました。

コロナ禍の中で対面での研修会開催が困難な状況を踏まえて小児リハ部ではオンライン研修会として上記テーマにて研修会を行いました。講師の花井丈夫先生は理学療法士としての臨床に加え、施設でリスクマネージャーを務めた経歴もあり、骨折が問題となる場面、状況、重症児者の特性による骨折につながりやすい動作や介助方法や他職種と連携して施設全体で骨折予防に取り組んだ実践例についても紹介をしていただきました。課題に対して、多職種で丁寧に課題解決に取り組んだ経験のお話は参加者からも今後の取り組みの参考になったとの声が多くありました。また、他職種の参加も多く、質疑を含め日常重症児者と関わる中での課題について参加者がそれぞれ考えていく機会となりました。テーマの骨折に限らず重症児者の生活全体を考えて理学療法士が関わっていくことの必要性を感じる研修会となりました。小児リハ部としては今後も他職種とのつながりを深められる研修会を開催していきたいと思えます。

(療育センターきぼう 小川克行)

## 第32回臨床講習会開催

令和3年3月21日(日)に、リアルタイムでの遠隔講義にて「疼痛に対する臨床推論過程と臨床実践」というテーマで研修が開催されました。痛みに関連する部位は多岐にわたり、痛みは複合的な要素を組み合わせ生じていること、心理的な問題としてとらえるのではなく器質的な痛みの原因が強い場合と感作が強い場合があるととらえることが大切であることが分かりました。そのため、神経障害性の疼痛が強いのか、中枢的感作の要因が強いのかを評価用紙を用いて評価し、その症状に合わせた治療が必要であると具体的なデータを用いながらわかりやすく説明がありました。中枢的感作が強い症例には身体知覚・恐怖に対する hands off アプローチを行いながらセラピストも患者も疼痛に関する理解、身体への気づきの促進、間違った動作の修正、機能障害に応じた新たな動作の獲得が生活の改善につながっていくことが分かりました。短い時間ではありましたが、実際の症例にすぐに生かせる興味深い研修でした。

(わかば病院 須賀和江)

## 令和2年度スポーツ推進部研修会開催

令和3年3月6日(土)に、「スポーツ理学療法 FIRST STEP」をテーマにスポーツ推進部研修会が開催されました。第1部では療育センターきぼうの小川克行先生を講師にお招きして「障がい者スポーツとの関わり」をテーマとして、ポッチャ競技を中心に、ご自身が関わられてきた経験や知見について講義をしていただきました。第2部ではスポーツ推進部員の丸山広樹先生より「足関節捻挫に対する理学療法の基礎」をテーマに、第3部では上牧温泉病院リハビリテーション部のスタッフより「スポーツにおける理学療法サポートのいろは」をテーマに動画配信していただきました。



スポーツ推進部として、Zoomを用いて行う研修会は初めてでしたが、滞りなく研修会を修了することができました。またチャット機能を利用した質疑等の意見交換も活発に行われておりました。研修会を通じて、参加者の方々にスポーツ理学療法を学ぶための第一歩となるための有意義な研修会となったと考えます。今後も研修会や情報提供など幅広く活動をしていく予定です。(スポーツ推進部 小保方裕貴)

## 第6回介護予防に資する地域ケア会議研修会開催

令和3年3月22日(月)～28日(日)の期間、オンライン形式にて第6回介護予防に資する地域ケア会議研修会が開催されました。研修は地域ケア会議について県アドバイザー、主任介護支援専門員、セラピストの視点で各地域の地域ケア会議について分かりやすく教えて頂きました。

本県の地域ケア会議の成り立ちから、実際の会議の様子、開催に際しての感染対策に至るまで体験を交えてご講演頂いたことで、地域ケア会議のイメージが掴みやすく大変参考になる内容でした。

改めて理学療法士として地域で求められている事、目指すべき自立とはどのようなことを指すのかについて幅広く学ぶことができました。(わかば病院 小野友也)

## 会員動向

令和3年5月14日現在

会員数 2,102名(勤務先会員名 1,870名、自宅会員 232)、休会 212名、施設数 312施設

# ニュース收受

2020/12/22	NOW 2020. 12. 10 発行	京都府理学療法士会
2021/01/12	ケアマネ群馬 会報 No. 120	群馬県介護支援専門員協会
2021/01/12	大阪府理学療法士会ニュース第 283 号/2020. 12. 31	大阪府理学療法士会
2021/01/12	和歌山県理学療法士協会ニュース No. 91	和歌山県理学療法士協会
2021/01/12	JPTA NEWS 2020. 10 Vol. 328 理学療法学 2020 Vol. 47 No. 6	日本理学療法士協会
2021/01/20	神奈川県理学療法士会ニュース 2021JanuaryNo. 286	神奈川県理学療法士会
2021/01/20	秋田県理学療法士会ニュース 第 198 号	秋田県理学療法士会
2021/01/20	兵庫県理学療法士会 士会だより No. 188	兵庫県理学療法士会
2021/01/25	第 31 回岐阜県理学療法学会誌	岐阜県理学療法士会
2021/001/27	理学療法兵庫 No. 26	兵庫県理学療法士会
2021/001/27	ゆまにて No. 184 号	静岡県理学療法士会
2021/02/01	会報 群臨技 467 号	群馬県臨床検査技師会
2021/02/01	広報誌「かくどけい」Vol. 135 2021JANUARY	熊本県理学療法士協会
2021/02/08	愛知県理学療法士会ニュース No. 200	愛知県理学療法士会
2021/02/12	群馬県作業療法士会ニュース 「からっ風通信」第 143 号	群馬県作業療法士会
2021/02/17	理学療法原論	日本理学療法士協会
2021/02/19	創立 50 周年記念誌・鹿児島県理学療法士協会ニュース No. 86	鹿児島県理学療法士協会
2021/02/22	理学療法の科学と研究 2021, Vol. 12 No. 1	千葉県理学療法士会
2021/02/26	理学療法—技術と研究— 第 49 号	神奈川県理学療法士会
2021/03/01	らいちょう No. 135, No. 136	岐阜県理学療法士会
2021/03/01	大阪府理学療法士会ニュース第 284 号	大阪府理学療法士会
2021/03/01	JPTA NEWS 2020. 10 Vol. 329 理学療法学 2021 Vol. 48 No. 1	日本理学療法士協会
2021/03/12	群なんれん 新刊 81 号	群馬県難病団体連絡協議会
2021/03/12	士会だより 2021MarchNo. 189	兵庫県理学療法士会
2021/03/12	ゆきわり草 No. 194	新潟県理学療法士会
2021/3/17	サポーターズ No. 157 2021 春号	山梨県理学療法士会
2021/3/19	秋田県理学療法士会ニュース 第 199 号	秋田県理学療法士会
2021/3/19	岐阜県理学療法士会 学術誌 第 25 号	岐阜県理学療法士会
2021/3/29	和歌山県理学療法士協会ニュース No. 92	和歌山県理学療法士協会
2021/3/29	ゆまにて No. 185 号 第 24 回静岡県理学療法士会学会誌	静岡県理学療法士会
2021/3/29	ぬくもり群馬 2021 春号	群馬県医療ソーシャルワーカー協会
2021/3/31	インフォメーション 令和 2 年度 No. 4 (No. 171)	茨城県理学療法士会
2021/04/02	ケアマネ群馬 No. 121 令和 3 年 4 月 1 日	群馬県介護支援専門員協会
2021/04/02	理学療法沖縄 2020	沖縄県理学療法士協会
2021/04/07	スポーツ科学群馬 第 15 集 (平成 28~令和 2 年度実績)	群馬県スポーツ協会
2021/04/07	会報 とやま 令和 2 年度 No. 1	富山県理学療法士会
2021/04/07	秋田理学療法 第 28 回巻	秋田県理学療法士会
2021/04/07	フレイル予防・対策: 基礎研究から臨床、そして地域へ	長寿科学振興財団
2021/04/12	学術誌 理学療法「湖都」第 40 号	滋賀県理学療法士会
2021/04/14	会報 群臨技 468 号	群馬県臨床検査技師会
2021/04/19	秋田県理学療法士会ニュース 第 200 号	秋田県理学療法士会
2021/04/21	神奈川県理学療法士会ニュース No. 287	神奈川県理学療法士会
2021/04/28	JPTA NEWS 2021. 4 Vol. 330 理学療法学 2021 Vol. 48 No. 2	日本理学療法士協会
2021/05/07	群馬県作業療法士会ニュース 第 144 号	群馬県作業療法士会
2021/05/07	大阪府理学療法士会ニュース 第 285 号/2021. 4. 30	大阪府理学療法士会

## \*\*\* 編集後記 \*\*\*

年度が変わり早くも2ヶ月が経ち、2021年も約半分が終わろうとしていることに焦りを感じています。昨年度より感染症予防の観点から、オンライン形式での研修がほとんどとなり、編集作業の中でもコロナ禍における地域リハビリやフレイル予防などをテーマにした研修会の開催が多かったように感じました。今の状況だからこそ方法を変えていけること、また取り組むべき課題などにも前向きに考えていこうと感じています。

今回源流編集にあたり、原稿の執筆を快く引き受けていただいた先生方、また研修記などご協力いただいた先生方には、心より感謝申し上げます。コロナ禍の中で大変の時期を迎えての折、会員の皆様におかれましてはどうぞご自愛のほどお祈り申し上げます。

石関 直忠



群馬県庁と利根川

## 源流こらむ

今号より群馬県理学療法士協会ニュース「源流」がWEB版になりました。

表紙の題字は、「源流」と命名された前会長浅香満氏の直筆によるものです。「数多くの源流を持つ群馬県、最初の一滴が集まり川となり坂東太郎（利根川）となる。士会員一人一人が集まり、大きな流れとなるように。そんな思いが入っています。」

これからも幅広い情報を皆様にお届けします。ご愛読よろしくお祈りいたします。